

すべての
子どもに

安心・安全で質の高い保育を平等に 予算の増額と保育士の増員を

保育士1人が受け持つ子どもの数
(4・5歳児)の国際比較

日本
30:1



フランス
15:1



スウェーデン
18:3
(実質6:1)



今こそ改善!

国際的にも 低すぎる保育士配置基準

日本の保育士配置基準はあまりに低く、1・2歳児は56年間、4・5歳児は1948年の基準制定から75年間、改善されていません。「こども未来戦略方針」には1歳児と4・5歳児の「改善」

が盛り込まれましたが、実施の時期も明記されておらず内容も不十分です。4・5歳児で比較すると、フランスのパリ市は15:1、スウェーデンのストックホルム市は18:3(実質6:1)です。

今こそ引き上げ!

賃金と労働条件

低すぎる保育士の給与
月給での比較(2022年)

31万
1,800円
全職種

26万
800円
保育士

(出典) 令和4年賃金構造基本統計調査

保育の仕事は、子どもの命を守り、発達を保障する高度な専門性を必要とする仕事です。けれどもその賃金は、全産業平均よりも大幅に下回っており、慢性的な人手不足に陥っています。

安心して働き続けることのできる、賃金と労働条件の大幅な引き上げを求めます。

今すぐ倍増!

保育・子育て予算

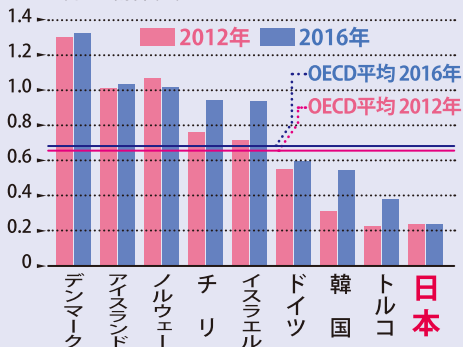
国は、子ども関連予算の「倍増をめざす」と明言しましたが、その実現は先延ばしされています。日本のGDPに占める就学前教育関連支出の割合は、

先進諸国の中でも極端に低いままです。予算を倍増し国際的な水準まで引き上げることは待ったなしの課題です。

〈OECD諸国平均の3分の1の低水準〉

就学前教育への支出のGDPに占める割合

GDPに占める割合(%)



『幼児教育・保育の国際比較』OECD国際幼児教育・保育従事者調査
2018報告書一質の高い幼児教育・保育に向けて/明石書店より作成



子どもたちと未来のために——願いを実現しよう!



子どもたちには、保育を受ける権利があります。国と自治体には、それを保障する責任があります。

子どもたちのために、保育予算増額と配置基準改善の声を国・自治体に届けましょう。

私たちの「願い」を署名にたくし、子どもたちのために一緒に声をあげましょう!



子どもたちのために! 学び、つながろう! 声をあげよう!

よりよい保育を! 実行委員会

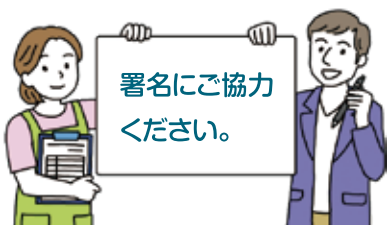
連絡先: 全国保育団体連絡会

〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 TEL 03-6265-3171

2023年度署名

取扱団体

署名にご協力
ください。



子どものための予算を大幅に増やし、保育・学童保育の 基準・施策の抜本的改善を求める請願書

衆議院議長殿
参議院議長殿

年 月 日
紹介議員
請願代表者氏名
外 名

請願趣旨

政府は、国が直面する最大の危機である少子化を反転させるとして「こども未来戦略方針」を閣議決定しました。「75年ぶりの配置基準改善」として、私たちが長年求め続けてきたことが盛り込まれましたが、実施の時期は明記されていません。また、「こども予算増」が2030年代初頭までに先延ばしされる一方で、「防衛予算増」は2027年に達成する見込みが示されています。さらに子育て支援策の財源確保のために医療など社会保障費の削減や社会保険料の値上げ等が検討されており、市民の中に不安が広がっています。

この間、保育・学童保育の職員配置や施設基準の改善はすすまず、国際的にも低い水準のまま放置され、職員の負担が増大しています。そして、保育者の賃金などが全産業平均よりも低い実態が人手不足をまねき、現場を疲弊させています。また、待機児童が減ったとはいえ、多くの隠れ待機児童が存在するなど、いまなお必要な保育が受けられない状況があります。人口減少地域においては、保育・子育て支援ニーズに充分に応えられず、施設運営も困難になっています。いま、乳幼児期からの安心できる子育てのためには、日常的に子どもの育ちと子育て家庭を支える、社会資源としての保育・学童保育の維持・拡充がどうしても必要です。

どのような状況にあっても、国・自治体の公的責任において、全ての子どもに安心・安全で質の高い保育が平等に保障されるよう、保育・学童保育にかかわる子どものための予算を大幅に増やし、基準・施策の抜本的な改善をただちにすすめるよう、以下について請願します。

請願項目

- 子どもたちの命を守り、保育・学童保育を充実させるために、子どものための予算を、ただちに大幅に増やしてください。
- 保育・学童保育の職員配置基準を引き上げ、職員を増やしてください。
- 保育・学童保育にかかわる公費負担を増やし、賃金・労働条件を引き上げてください。
- すべての子どもの保育料を、給食費なども含めて無償にしてください。

氏名	住所

ご注意ください

氏名、住所は省略せず、「同上や〃」は使わないでください。